



平成 25 年 10 月 4 日

毎年 10 月・11 月は放火火災が多発しています。放火対策を！！

総務省の火災統計によると、平成 24 年は約 4 万 4,000 件の火災が発生し、そのうち放火が全体の 2 割近くを占めています。

福岡市に関しても、平成元年から **24 年連続**で火災原因の 1 位は**放火**です。放火火災は、相手や場所を選ばない無差別なものが多く、市民生活に大きな不安を与えます。

過去 3 年間で放火火災が多発しているのが 10 月と 11 月です。

もう一度、十分な放火対策が出来ているか確認をしてください。

福岡市における過去3年間の月別放火件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
H22	12	8	7	9	7	8	4	11	6	15	11	2	100
H23	1	7	8	8	13	9	8	8	4	7	17	9	99
H24	5	5	7	8	12	4	7	4	5	12	4	3	76
合計	18	20	22	25	32	21	19	23	15	34	32	14	275

《屋外のチェックポイント》

屋外の可燃物は、放火行為者の恰好の目標です。特に燃えやすい廃材等が長期間放置されていると大変危険です。

また、回収されるまでの廃棄段ボールや紙類などのごみは放火されやすく、これによる火災も多く発生しています。

《こんなところにも気をつけて！！》

○敷地内：屋外に可燃物を放置しない、置かないことは放火火災予防の基本です。部外者が自由に出入りできる場所は、特に注意してください。

○自転車やバイク：自転車やバイクは、ゴム製品等が使用されていることから一度火がつくと激しく燃え上がります。また、自転車やバイクにかけるカバーは、火がつきやすいため、防災製品のシートを使用するようにしましょう。

○店舗のバックヤード：製品梱包用の可燃物(段ボールなど)が野積みされた状態は非常に危険です。除去するか倉庫へ保管しましょう。

《福岡市消防局では、連続的な放火が発生した地域に、放火監視機器を設置し、放火防止対策を実施しています。》



【問い合わせ先】福岡市消防局予防部予防課
担当：勝野・大曲
電話番号：092-725-6611 内線：147-6613